



第 2 回 DBJ トランジションボンド資金使途報告書(発行日 2025 年 8 月 22 日)

DBJ は、2024 年 7 月に策定した DBJ トランジションボンドフレームワーク(以下、「フレームワーク」)に基づき、2025 年 8 月 22 日付で第 2 回 DBJ トランジションボンドを発行しました。

■フレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン

- フレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン(認証機関:株式会社日本格付研究所。以下、「オピニオン」)についての詳細は下記リンクをご確認ください。

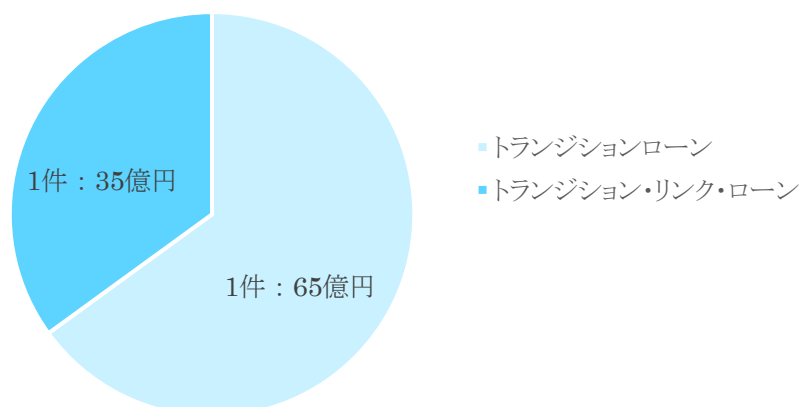
https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/tr/202407_SPO.pdf

■第 2 回 DBJ トランジションボンド資金使途報告(概観)

- DBJ トランジションボンドの発行代わり金は、トランジション・ファイナンスとしての適格性について第三者評価を取得したトランジションローン及び/又はトランジション・リンク・ローンへの投融資(以下、「適格プロジェクト」)。詳細はオピニオンの「Ⅰ.調達資金の使途」をご確認ください)のいずれかに充当されることとしております。
- 第 2 回 DBJ トランジションボンドの発行代わり金は、2 件の適格プロジェクトに充当を完了しております(2026 年 7 月 31 日時点)。適格プロジェクト毎のアロケーションについては下記パイチャートをご確認ください。
- 第 2 回 DBJ トランジションボンドの発行代わり金は、発行日時点(2025 年 8 月 22 日時点)で既に実行済みの投融資に充てており、リファイナンス比率は 100%となっております。
- 未充当金は、現金又は現金同等物で管理することとしておりますが、第 2 回 DBJ トランジションボンドの発行代わり金の未充当額は存在していません。

* 調達資金の管理についてはオピニオンの「Ⅱ.調達資金の管理」をご確認ください

適格プロジェクト毎の発行代わり金アロケーション



■第2回 DBJトランジションボンド資金使途報告(事例)

➤ 第2回 DBJトランジションボンドに充当した適格プロジェクトについての事例は下記の通りです。

取引先	太平洋セメント株式会社(以下、「当社」)
本社所在地	東京都
融資契約締結	2023 年
融資通貨	円
案件概要	・ 本件は、当社に対し、トランジション・ファイナンス・フレームワークの策定を支援し、本邦セメント業界初のトランジション・ファイナンスとなるトランジション・リンク・ローン(以下、「本ローン」)を実行したものです。 ・ 本ローンは、当社のトランジション戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下、「SPTs」)を設定し、金利条件等と連動させることで、当社にトランジション戦略の進展や達成に対するインセンティブを与え、社会における脱炭素化・低炭素化を促進させることを目的としたものです。本ローンの SPTs には、2050 年に国内外のサプライチェーン全体でカーボンニュートラルを実現するためのマイルストーンとして公表されている当社の 2030 年中間目標値 2 つ (SPTs①: サプライチェーンにおける CO2 排出原単位※1を 2000 年比 20%削減 SPTs②: 国内の CO2 排出量※2を 2000 年比 40%削減)を設定しております。 ※1 スコープ 1 (化石代替エネルギー分を除く)+スコープ 2+スコープ 3 (カテゴリ 1、3) ※2 スコープ 1 (化石代替エネルギー分を除く)+スコープ 2
URL	https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2022/html/20230308_204201.html



提供先：太平洋セメント株式会社

(2026 年 7 月 31 日現在)